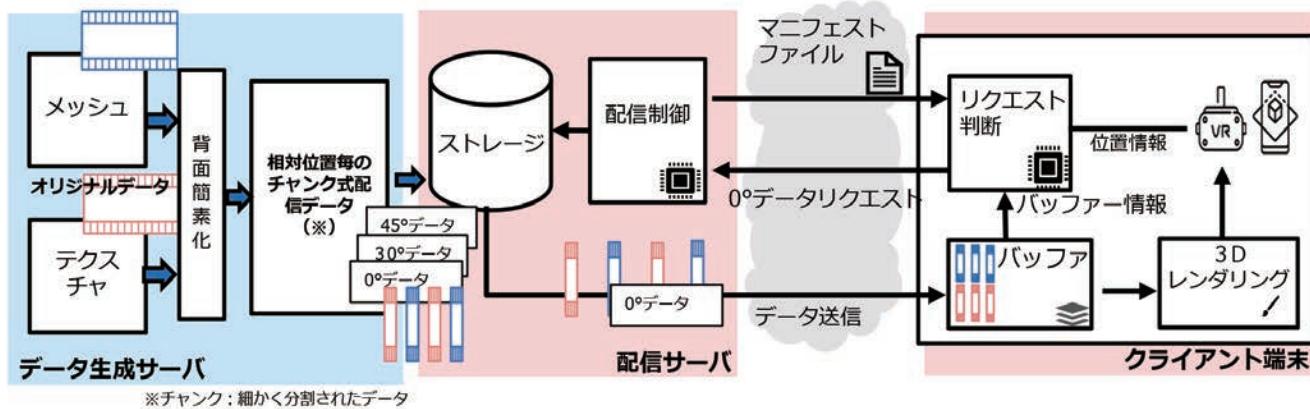


ボリュメトリックビデオ配信技術

自由な視点から立体映像を視聴可能なボリュメトリックビデオ映像の送受信で、随時再生できるストリーミング配信方式により、端末が要求する情報に合わせてデータを効率的に選択配信可能な技術です。

コンテンツの分割転送と視点情報を元にした背面データの

簡素化処理を組み合わせることで、一般に高レート配信になるボリュメトリック映像の品質を維持しながら配信データ量を削減でき、また随時再生を可能にすることで、ネットワーク機器や視聴端末のリソース使用を削減し、省エネ化が期待できます。



図：ボリュメトリックビデオ配信技術の概要

環境貢献度評価

●評価条件

ボリュメトリックビデオ映像の配信工程で開発技術を用いて映像品質を維持しながら配信データを簡素化し、自由視点からストリーミング配信する場合と、従来手段を用いてすべての映像情報を受信先に一括配信する場合でのCO₂排出量を比較することで、開発技術の環境貢献度を定量化しました。

●評価結果

本技術を適用した場合の環境貢献度は、10分の3D映像の300人の受信者への情報配信あたり187 t-CO₂ (削減率：81%) でした。

主な削減要因は、映像データの事前の背面簡素化処理によるストリーム配信データ量の削減により、従来と比べて高レートな映像情報配信の効率化によるネットワークインフラ利用の削減でした。

